

目標達成計画

作成日：平成 23年 3月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43、55	利用者様のADL、IADLの低下にともない、現状のケア方法では対応しきれない部分が出てきている。	特に排泄面において、より個々に合わせた工夫を追求する(フロアミーティングで毎回話し合う)。	①トイレトペーパー使用の促しを視覚で訴える。 ②リハパン、パットの使用(または種類)を常に見直し、適切なものを選定する。 →尿漏れ・失禁を減少させる(ゴミ・洗濯の削減を1つの目安とする)	前半6ヶ月
2	52	施設で犬を飼い始めた(アニマルセラピーのため)ことにより、より一層の衛生面での配慮が必要になっている。	利用者様が犬と触れ合った後は、手洗いや消毒を促す。 犬の毛が舞わないよう、掃除を強化する。	①犬と触れ合ったあとは、スタッフが利用者様を誘って手洗い(難しい方は消毒のみ)を実施する。 ②廊下・階段も含め、1日2階は掃除を行う。	前半6ヶ月
3	49	利用者様3人以上で野外出(散歩や外食)の頻度を上げたい。	月に1度は、利用者様全員での外出を行う。その際、ご家族にも連絡し、都合のつく方は一緒に参加して頂く。	月末のフロアミーティングで、翌月の外出予定を立てる(普段から利用者様のニーズを把握しておく)。 その後、ご家族に電話や直接予定をお伝えし、お誘いする。	後半6ヶ月
4	49	寄り合い茶屋の新しいお客様(地域の方)の中には、まだ顔と名前が一致しない方がみえる。新しい方とも、利用者様・スタッフともにコミュニケーションがとれる必要がある。	スタッフが、寄り合い茶屋にみえる新しいお客様(地域の方)の顔と名前を覚え、利用者様との会話につなげられる。	1週間に1回以上寄り合い茶屋・フロアにみえる地域の方を対象に、写真付き名簿を作成する。そのことで、スタッフが名前を呼んで会話を行うことができ、利用者様とのコミュニケーションにつなげられる。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。